

調査位置平面図

栄町（東部14号）





ボーリング柱状図






調査名平成30年度 浸水対策東部14号雨水枝幹線管渠詳細設計業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNO.

ボーリング名	H30 No.1				調査位置		佐野市栄町					北緯	36°18'40.1"		
発注機関	佐野市水道局下水道課						調査期間		平成30年8月17日～30年8月20日			東経	139°36'0.7"		
調査業者名	株式会社 森エンジニアリング 電話(0283-27-2655)				主任技師		平岩陽一		現場代理人		清水翔悟	コア鑑定者	中村享史	ボーリング責任者	三苦秀一
孔口標高	H=26.31m		角 上 下 度		方 向		地盤勾配		使用機種	試錐機		TOHO DO-D		ハンマー落下用具	半自動式落下装置
総掘進長	12.45m									エンジン		YANMAR NFD10M		ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記述	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験										原位置試験		試料採取			室内試験(掘進月日)
											深 度 (m)	10cm ぐとの 打撃回数			打撃回数／貫入量 (cm)	N 値	深 度 (m)	試 験 名 および結果	深 度 (m)	試料 番号	採取 方法					
												0 〃 10	10 〃 20	20 〃 30												
1	25.51	0.80	0.80		埋土	暗褐			0.00m～0.10m間はアスファルト舗装 0.10m～0.30mは砕石路盤材 以下は粘土分を多量混在した礫質土 による埋土	8/17 1.80	1.15	1	1	3	3											
2	24.61	0.90	1.70		凝灰質粘土	茶褐～灰			含水中位、粘着大位 全体に不均質な凝灰質粘土で細砂を混在する		1.46	10	9	12	31	31										
3					粘土混り砂礫	灰褐～茶褐			含水高位 φ2～30mm程度の垂円礫が主体で最大φ100mm程度を混在する 礫分は70～80%程度でマトリックス(礫間充填物)は粘土混り細中砂所々に角礫の混在も見られる 4.60m～4.90m粘土を挟有		2.15	10	9	12	31	30	21									
4												3.15	5	6	10	21	30	21								
5												4.15	3	4	10	17	30	17								
6	20.41	4.20	5.90									4.45	8	3	3	14	30	14								
7												5.15	1	2	2	5	30	5								
8					砂混りシルト	暗灰			含水・粘着共に中位 全体に細砂を混在し、不均質な砂混りシルト 8.00m以深より細砂の混在が増加する 所々に腐植物や浮石を少量混在する		6.15	1	1	1	3	3										
9												7.15	1	1	1	3	31	3								
10												7.46	1	1	1	3	30	3								
11	15.51	4.90	10.80									8.15	1	1	2	4	30	4								
12	13.86	1.65	12.45				粘土混り砂礫	暗灰				含水中位 φ2～50mm程度の垂円礫が主体で最大φ60mm程度を混在する 礫分は60～70%程度でマトリックス(礫間充填物)はシルト混り細中砂一部、シルト質砂礫の薄層を挟在し、浮石を混在する		9.15	1	1	2	4	30	4						
13											9.45		1	2	2	5	30	5								
14											10.15		10	9	12	31	30	31								
									11.15	7	10	11	28	30	28											
									11.45																	
									12.15																	
									12.45																	

ボーリング柱状図

調査名 平成30年度 浸水対策東部14号雨水枝幹線管渠詳細設計業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNO.

ボーリング名	H30 No.2			調査位置	佐野市栄町					北緯	36° 18' 50.1"		
発注機関	佐野市水道局下水道課					調査期間	平成 30年 8月 24日 ~ 30年 8月 29日				東経	139° 35' 59.4"	
調査業者名	株式会社 森エンジニアリング 電話 (0283-27-2655)			主任技師	平岩陽一		現場代理人	清水翔悟	コア鑑定者	中村享史	ボーリング責任者	三苦秀一	
孔口標高	H=26.87m	角 上 90° 下 0° 度	方 北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 向	地盤勾配 鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機	TOHO DO-D			ハンマー落下用具	半自動式落下装置		
総掘進長	10.40m					エンジン	YANMAR NFD10M			ポンプ	Kano V-6		

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記 事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験						原位置試験		試料採取			室内試験(掘進月日)	
											深 度 (m)	10cm ごと の 打 撃 回 数			打撃回数／貫入量 (cm)	N 値	深 度 (m)	試 験 名 およ び 結 果	深 度 (m)	試料番号	採取方法		
												0	10	20									
	26.27 25.97	0.60 0.30	0.60 0.90		埋 土	暗 褐			0.00m～0.15m間はアスファルト舗装 0.15m～0.30m迄は碎石路盤材 以深は礫を多量混在した礫質土による埋土	8/24 1.60	1.15	1	1	1	3	31	3			1.50			物理三軸
1					ローム	茶褐			含水・粘着共に中位 全体にやや不均質なロームを呈し、 下部に従いやや粘土質となる		1.46						2			2.30			
2					凝灰質粘土	茶褐～灰			含水中位、粘着大位 全体に不均質な凝灰質粘土で細砂を混在する		2.15	1	1		2	30	2						
3	23.77	2.20	3.10		粘土混り砂礫	茶褐灰～灰褐			含水高位 φ2～30mm程度の亜円礫が主体で最大φ100mm程度を混在する 礫分は70～80%程度でマトリックス（礫間充填物）は粘土混り細中砂所々に角礫の混在も見られる		2.45						44						
4											3.15	15	16	13	44	30	44						
5											3.45												
6	21.07	2.70	5.80		礫混り粘土	茶褐～暗灰			含水・粘着共に中位 全体に不均質な砂混り凝灰質粘土でφ2～50mm内外の円礫～角礫を点在 所々に腐植物や浮石を少量混在する		4.15	13	13	14	40	30	40	4.00	現場透水試験(回復法)				
7	20.17	0.90	6.70								4.45							4.50					
8					粘土混り砂礫	暗灰～茶褐灰			含水中位 φ2～30mm程度の亜円礫が主体で粘土分を含み最大φ60mm程度を混在する 礫分は60～70%程度でマトリックス（礫間充填物）はシルト混り細中砂一部、シルト質砂礫層の薄層を挟在する		5.15	8	9	11	28	30	28						
9											5.45												
10	16.47	3.70	10.40								6.15	2	2	3	7	30	7						
11											6.45												
12											7.15	19	12	9	40	30	40						
13											7.45												
14											8.15	4	5	6	15	30	15						
											8.45												
											9.15	12	19	19	50	28	54						
											9.43	8											
											10.15	13	20	17	50	25	60						
											10.40												